

住田町立有住小学校 第6学年 地域創造学学習指導案

日 時	令和3年9月29日(金)
場 所	多目的ホール
学 級	第6学年 14名
授業者	菅野 雄太郎

1 単元名 「我が町 再発見 ～ 地域に根ざした情報発信～」

2 単元について

(1) 題材について

第6学年では、住田町が暮らしやすい町づくりのために行っている事業を題材として取り上げ、住田町ならではの取組を学習し、そのよさや課題について探究活動を行う。本単元では、その中で「住田テレビ」に関わる取組に焦点をあて、探究活動を進めていく。

「住田テレビ」は、住田町が放送事業者となり、町内の出来事や行政情報を中心に情報を発信する町営のテレビ局である。平成20年4月に開局し、取材・撮影から編集・製作まで、遠野テレビの技術協力を受けながら、番組を放送している。番組を視聴するためには、住田町地域情報通信基盤施設への加入が必要であり、現在の加入率は98%となっている。そのため、週に2回以上は視聴しているという児童が多く、児童にとって、身近な学習材となっている。

本単元の導入段階では、「住田テレビ」の番組表から毎日放送されている番組内容について資料をもとに想起する。それをもとに番組づくりについて児童一人一人が調べる課題を設定し、番組の制作の様子や事業内容などについて調べることができるようにする。次の段階では、実際に「住田テレビ」への見学学習や身近な方へのインタビュー活動、「住田テレビ」立ち上げ時に携わるゲストティーチャーから話を聞くことなどから、「住田テレビ」と人々の暮らしの関わりや働いている人々の思いについて探究できるようにしていく。単元のゴールでは、学習を通して気付いた住田町の取組のよさやそれに携わる方の思いや願いを自分たちの生活と関わらせて考えながらまとめ発信していく活動を行う。

(2) 児童について

児童は、第3学年での杉苗学習や地域に住む昆虫調べ、第4学年での気仙川の学習を通して、地域のよさやすごいところについて学習を深めてきた。また、第5学年での栗木鉄山やたたら製鉄についての学習では、地域の誇れる歴史等について学習してきている。地域創造学におけるどの学習においてもゲストティーチャー等の人との関わりを大切にしながら学習していくことで、地域理解を深めてきた。

第6学年、第一単元の「我が町 再発見～暮らしやすい町づくり～」の学習では、住田町の暮らしやすいまちづくりについて、「移住支援」「子育て支援」「高齢者支援」「観光・イベント」の分野を中心にインターネット等で調べ、調査活動を行った。さらに疑問に思ったことを役場の各課に質問するリモートインタビュー活動を通して理解を深めてきた。また、その結果を模造紙にまとめ、本校の5年生に発信することなどを経験している。本単元にあたる第二単元の「我が町 再発見～地域に根ざした情報発信～」では、「住田テレビ」に関わる取組に焦点をあて、これまでの学習経験を生かし、探究活動を進めていく。

本校で実施した地域創造学のアンケート結果から、6年生の児童は、地域に興味関心があり、体験活動等にも意欲的に取り組んでいることが分かる。また、自らの学びを発信することに楽しみを見出している児童も多い。しかし、一方で、課題に対して意欲的に追究していく力が弱い児童もいる。そこで、見学学習等の体験的な学びの時間を設定したり、ゲストティーチャーを意図的に活用したりすることによって、児童が課題を自分事として捉え、主体的に学びに向かうことができるように支援しているところである。

(3) 指導にあたって

本校では、地域創造学において、よりよく伝え、深く学び合うための言語活動を通して「生きて働く社会的実践力の育成」を目指している。児童が自分の考えをよりよく伝え合い、本単元の学習を深く学び合うことができるよう、活動に応じた形態で児童が互いの立場や意図を明確にして、考えを交流する言語活動に取り組む。また、児童が主体的に学習に取り組むことができるように、単元の導入場面で、「何を解決するのか」「何を調べるのか」という課題意識をはっきりとさせ、「誰に」「どのように」発信したいのかという単元のゴールを明確にしていく。さらにゲストティーチャーの話の聞いたり、地域の方々にインタビューをしたりする場面を取り入れていくことで、学習課題をより自分事として捉えていけるようにしていく。その際、国語科の「いちばん大事なものは」で学習した会話やインタビューを行うための方法を生かしていく等、教科横断的な学びを意識させながら学習を進めていきたい。

本時の指導でも、これまで「もの・こと」として調べてきた町民の暮らしが豊かになるための住田町の取組を「人とのかかわり」に焦点を当てて考えていくためにゲストティーチャーから話を聞く場面を設ける。ゲストティーチャーの「住田テレビ」に対する思いや願いに気付くだけでなく、「住田テレビ」と町民の関わりをまで目を向けさせることで、本単元の学びをより深いものとしていくとともに、第3ステージ最終学年である中学校第1学年で学習する「調査をしよう」の学習において、自己課題をもち、これまでの学習経験を生かした自主的、主体的な調査活動に取り組むことのできる素地をつくっていきたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

	資質・能力の分類	資質・能力別の目標
社会的実践力	A【地域理解】	○住田テレビについて探究する活動を通して、地域のよさを知り、積極的に関わることができる。
	B【社会参画に関する資質・能力】	○住田テレビの取組みについて、その内容やよさを理解し、探究した内容をよりよい社会づくりのための住田テレビと関わらせながら発信をすることができる。
	C【人間関係形成に関する資質・能力】	○課題解決に向けて、住田テレビに関わる人との対話やグループでの伝え合いをしながら、協力して探究活動をすることができる。
	D【自律的活動に関する資質・能力】	○住田テレビに関心をもって学び、自らの取組みを振り返り調整しながら主体的に探究することができる。

(2) 評価規準

☆汎用的スキル ★態度・意欲・学びの価値

資質・能力		評価規準	
A ◎地域理解	【◎地】	・住田テレビについて、そのよさに気付きながら理解を深めている。	
能力 B 社会参画に関する資質	1 ☆見通す力	【☆見】	・住田テレビの取組やそのよさについて、探究活動の見通しをもって計画を立てている。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・住田テレビのよさや働きについて、番組制作の様子や視聴者側の捉えと関連させて考えている。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・住田テレビの取組のよさについて、自分の思いがそれぞれ伝わるように、表現を工夫して発信している。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・住田テレビについて興味・関心をもち、そこに携わる人々と積極的に関わりながら探究している。
資質能力 C 人間関係形成に関する	3 ★他者受容	【★受】	・住田テレビに携わる人々の思いや願いに気付き、相手の思いを大切にし、今後の生活に生かそうとしている。
資質能力 D 自律的活動に関する	2 ☆創出する力	【☆創】	・住田テレビの取組の意義や役割を価値付け、そのよさを自分なりの方法で表現している。

4 単元の指導（本時 第10時／全22時間）

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目（評価方法）
9	地域に根ざした情報発信	現状把握	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「住田テレビ」について、知っていることを話し合う。 ・「住田テレビ」の概要や番組について調べる。 ・「住田テレビ」について、調べてみたいことを考え、話し合う。 	国語 「聞いて、考えを深めよう」 B4	B1☆見通す力 (チェックリスト)
		計画	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「住田テレビ」を見学する計画を立てる。 ・質問事項をまとめる。 	国語 「対話の練習 いちばん大切なものは」 C3	B1☆見通す力 (チェックリスト) B4★好奇心・探究心 (学習シート)
情報収集		3	<ul style="list-style-type: none"> ・「住田テレビ」を見学し、番組づくりの様子を調べる。 ・調べたことを交流し、深める。 ・家族や地域の人へのインタビュー活動から住田町の人々は、「住田テレビ」についてどう思っているのかを調べる。 	国語 「日本文化を発信しよう」 B3 D2	B4★好奇心・探究心 (発言・学習シート) C3★他者受容 (ループリック)	
		1 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・「住田テレビ」の方と「住田テレビ」立ち上げに携わったゲストティーチャーの話から番組制作や「住田テレビ」に対する思いや願いについて調べる。 	社会 「憲法とわたしたちの暮らし」 B2		
10・11		実施・改善	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「住田テレビ」に携わっている方の話から「住田テレビ」は自分たちにとってどんなものなのかを考える。 ・見学したことやゲストティーチャーの話をもとに、「住田テレビ」の取り組みについて分かったことをまとめる。 	国語 「聞いて、考えを深めよう」 B4 国語 「対話の練習 いちばん大切なものは」 C3 国語 「日本文化を発信しよう」 B3 D2 社会 「憲法とわたしたちの暮らし」 B2	D2☆創出する力 (学習シート・発言) B2☆多角的・多面的に考える力 (チェックリスト)
			11	<ul style="list-style-type: none"> ・発信する相手を意識したまとめ方や発信方法を考える。 ・発表資料作りや、発表練習を行う。 ・「住田テレビ」についてまとめ、発信する準備をする。 ・リハーサルを行い、発信内容について検討する。 ・修正を加えて、住田テレビを通して、調べたことを発信する。 		B3☆提案・発信する力 (チェックリスト・学習シート)
12		振り返り	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「住田テレビ」の探究活動を通して、感じたことや考えたことを交流する。 ・自分たちの生活と関わらせながら、単元のまとめをする。 		A◎地域理解 (発言・振り返り) C3★他者受容 (発言・振り返り)

5 本時の指導

(1) 目標

ゲストティーチャーの話から「住田テレビ」のよさや「住田テレビ」に関わる人々の思いを理解することができる。
【C3 人間関係形成に関する資質・能力 ★他者受容】

(2) 評価について(本単元の他者受容に関わるルーブリック)

パフォーマンス課題		・「住田テレビ」のよさや「住田テレビ」に関わる人々の思いを捉え、今後の生活に生かそうという思いを学習シートに記入することができる。
みとる資質能力		・C3 人間関係形成に関する資質・能力 ★他者受容
パフォーマンスの特徴	A	・「住田テレビ」のよさや「住田テレビ」に関わる人々の思いを捉え、今後の自分の生活にどのように生かしていきたいのかを考え、具体的に学習シートに記入している。
	B	・ゲストティーチャーの話をもとに、「住田テレビ」に関わる人々の思いや「住田テレビ」のよさについて学習シートに記入している。また、そのことについて自分の考えを書いている。
	C (支援の手立て)	・ゲストティーチャーの話を想起させることや、友達の気付きや考えから自分が感じたことを学習シートに記入できるようにする。

(3) 展開

段階	学習内容・学習活動	指導上の留意点 ◆評価
導入 7分	1 前時までの学習を想起する ・住田テレビについて探究してきたことや家族へのインタビュー活動について想起する。	<ul style="list-style-type: none"> 写真や学習物を提示し、前時までに調べた内容を想起できるようにする。 家族へのインタビューの様子を写し、地域の方の「住田テレビ」に対する思いを想起させ、本時の課題へとつなげられるようにする。
	2 学習課題を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> ゲストティーチャーのお話を聞き、住田テレビについて理解を深めよう。 </div>	
展開 28分	3 ゲストティーチャーの話を聞く <ul style="list-style-type: none"> 「住田テレビ」の番組制作に関わるゲストティーチャーへインタビュー活動をする。 「住田テレビ」の立ち上げに関わるゲストティーチャーの話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の質問に対するゲストティーチャーの回答を分かりやすく板書することで、番組制作者の思いや「住田テレビ」のよさを捉えられるようにする。 これまでの学習で解決できていない児童の疑問をゲストティーチャーに質問したり、それに関わる話題を振ったりしながら話を進めていくことで、テレビ局立ち上げに関わる人の思いや「住田テレビ」のよさを捉えられるようにする。
	5 自分の考えをもつ <ul style="list-style-type: none"> 二人のゲストティーチャーの話を聞いて気付いたことや感じたことをタブレットに記入する。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・気づきや考えを全体で交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「住田テレビ」に関わる方々の思いや「住田テレビ」のよさについて自分の考えをもつことができる。(記述・発言)
<p>まとめ</p> <p>10分</p>	<p>6 学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り，学習シートに記入する。 ・振り返りを発表し，全体で共有する。 <p>7 次時の学習を確認する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞いてわかったことや考えたことなどの振り返りの視点を与える。 ◆「住田テレビ」に関わる方々の思いや「住田テレビ」のよさについて触れ，自分の考えを書いている。(学習シート) ・児童の振り返りを全体で交流した後，振り返りについてゲストティーチャーから感想をもらうことで，本時の児童の考えに価値付けをする。 ・調べたことをまとめ，発信していくための計画を立てていくことを確認する。